

4. 本時の目標

- ・箱から展開図を作り，その形を友達と比較することができる。
- ・同じ箱から作ったさまざまな展開図を，形の特徴をとらえ，分類・整理することができる。

5. 本時の展開

子どもの意識の流れ	学習活動	教師の働きかけと評価（口）
<ul style="list-style-type: none"> ・辺は，カッターナイフで切ることができるよ。 ・面と面が，ばらばらにならないように，切る辺を考えないといけないよ。 ・面の周りの辺のうちの一つは，他の面とつながるために，残しておくようにして切ろう。 	<ul style="list-style-type: none"> ・立方体の箱の形を辺に沿って切り開き，展開図を作る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・面を6枚，セロハンテープで箱の形にしたものを一人1つずつ持たせ，全員で一緒に1辺ずつカッターナイフで切り開く。
<ul style="list-style-type: none"> ・展開図ができたよ。7回切ったらできたね。 ・あれ，となりの友達と展開図の形が違うよ。 ・同じように切ったのに，なぜ違うのだろう。 ・みんなの展開図をくらべてみたいな。 	<ul style="list-style-type: none"> ・出来た展開図がお互い違うことに気づく。 	<ul style="list-style-type: none"> ・みんなで1辺ずつ一緒に切り開いたことを確認し，同じ立方体を同じ数だけ切り開いても，違う形の展開図ができていることを共有する。
<p>問題 立方体の展開図は，何種類できましたか。</p>		
<ul style="list-style-type: none"> ・ぼくの周りの展開図は，みんな違う形だ。 ・裏返して重ねると，同じ形になったよ。 ・みんなの展開図をくらべよう。 	<ul style="list-style-type: none"> ・問題を確認する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「何種類」という問題を意識し，自分が作った展開図を，周りの友達と比べ合う活動を行うことで，分類・整理する必要性に気づかせる。
<p>めあて みんなの展開図を分類して整理しよう。</p>		
<ul style="list-style-type: none"> ・同じ形の展開図を作った人で集まろう。 ・これとこれは，同じ形とみていいかな？ ・よく似た形だな。右に1つずらしたら同じだ。 ・この展開図でも，立方体になるんだ。おもしろいね。 	<ul style="list-style-type: none"> ・めあてを共有する。 ・作った展開図の分類・整理をおこなう。 	<ul style="list-style-type: none"> ・よく似ている展開図を見つけさせ，似ている特徴を明確にすることで，分類・整理の視点を持たせる。
<ul style="list-style-type: none"> ・黒板に貼っていこう。 ・この形とこの形は，よく似ているから，一つのまとまりになるね。 ・グループ分けできそうだ。 		<ul style="list-style-type: none"> ・なかなか，視点を持つことができないときは，展開図の正方形が横にいくつ並ぶかで分類した板書を行う。
<p>みんなで分類・整理した展開図をまとめよう。</p>		
<ul style="list-style-type: none"> ・みんなで考えた立方体の展開図は，○種類だとわかったよ。 ・分類・整理するときは，展開図の面の位置と並び方に着目するといいいね。 	<ul style="list-style-type: none"> ・まとめをおこなう。 	<p>◎分類・整理の視点の根拠を持つことができる。 ○箱から展開図を作り，友達と比較することができる。 △自分が作った展開図で友達と比較することができない。</p>
<ul style="list-style-type: none"> ・○種類だとわかったけど，それ以外の展開図はないのかな。 ・分類したのを見直してみよう。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ふりかえりをおこなう。 	
<ul style="list-style-type: none"> ・面を動かせば，新しい展開図ができそうだ。 ・箱の形を作って確かめてみよう。 		<ul style="list-style-type: none"> ・新たな見方を持つことができるよう，見つけた展開図以外に，立方体の展開図の形はないのか，問いかける。